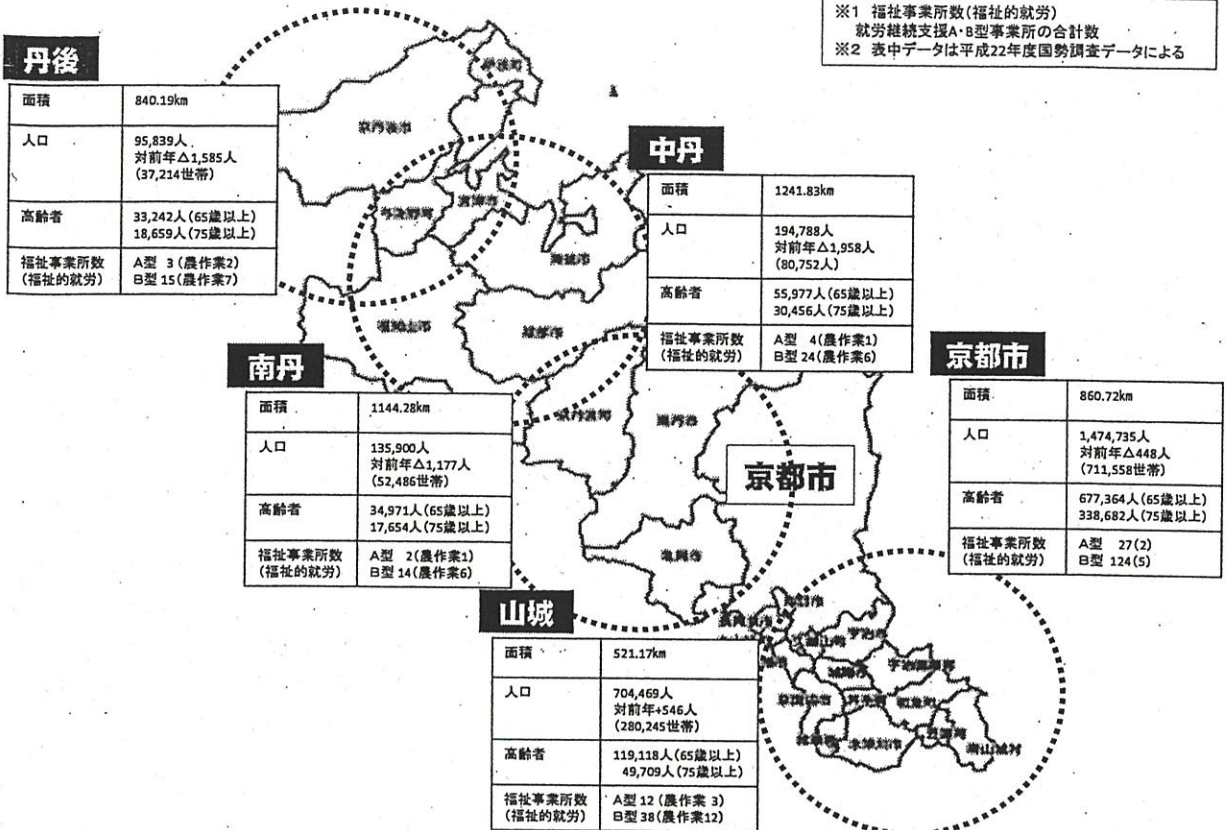


地域農業と地域共生のあり方に関する検討

●地域の構成



●地域の特色と農業をとりまく課題

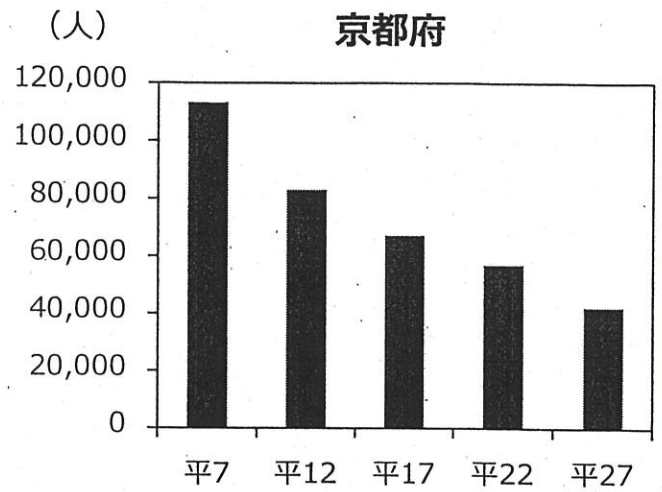
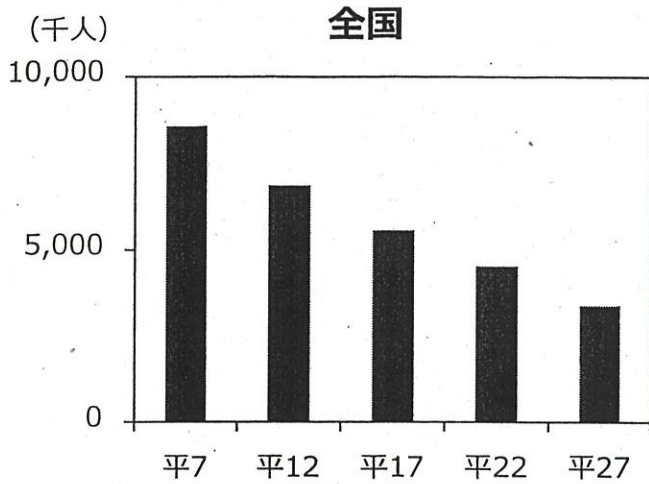
<h4>丹後</h4> <p>[地域の特色]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期的な人口減少・高齢化 ・海産資源「海の京都」ブランドと連動 ・伝統産業「丹後ちりめん」 <p>[農業をとりまく課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地の流動化が進む (借入農地面積20%増(平成12年→22年)) 	<h4>中丹</h4> <p>[地域の特色]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「山」「川」「海」が域内存在「森の京都」 ・自動車交通網が整備される <p>[農業をとりまく課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄面積率が多い (中丹9.3%、山城6.5%、丹後6.4%) ・販売農業者数≒自給農家数 ・棚田割合(84%)
<h4>南丹</h4> <p>[地域の特色]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田園地、牧用地が多数広がる ・丹波ブランド・黒大豆、粟等の高品質産品 「美山やまざと市」(通年・毎日曜) <p>[農業をとりまく課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・域内に65農業経営体が所在(府内35%) 	<h4>山城</h4> <p>[地域の特色]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本を代表する宇治茶産地「お茶の京都」 ・都市的な人口構造(若年人口の増加地域も有) ・地場産業イベント「UJI-CHA Fair」(3月～8月) 「クロスピア市」(通年・日曜) <p>[農業をとりまく課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主業農家(65歳未満・農専60日以上)が多い ・樹園地割合が高い(府内20%)

<農業をとりまく課題>

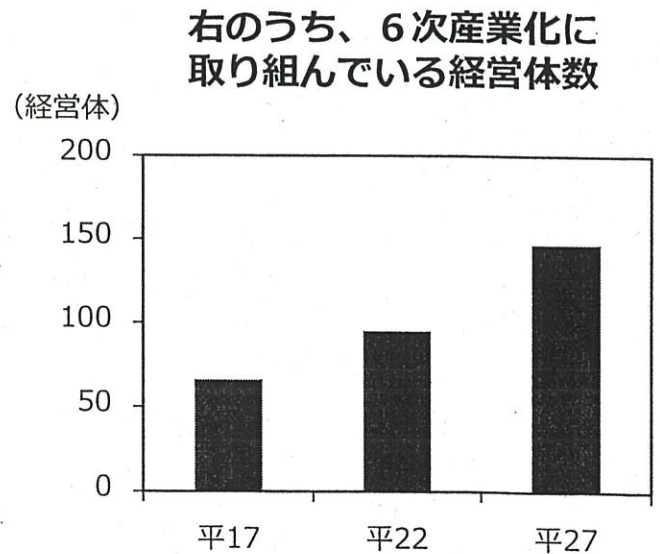
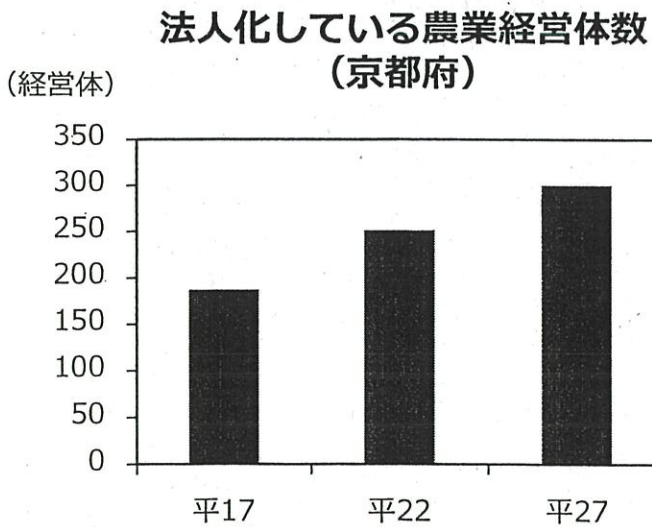
出所: 近畿農政局統計部「2005年農林業センサス結果からみた京都府の農林業」
2015年農林業センサス(京都府)
明日の京都「地域振興計画」

農業・農村を取り巻く情勢の変化について

農業従事者数の推移



農業経営体の経営形態の変化



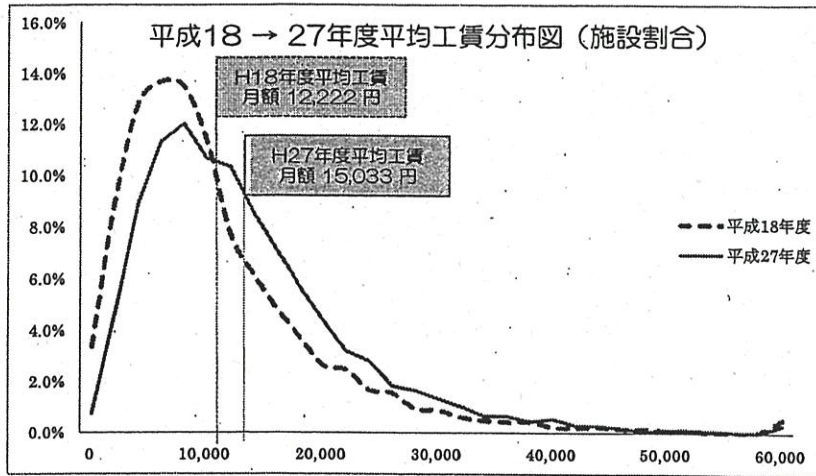
農業に従事する人の数が減少し、マンパワーが不足する中、農業経営体は法人化や多角化を進めており、多様な人材とのマッチングが求められている。

京都府の就労(工賃分布)の現状について

全国

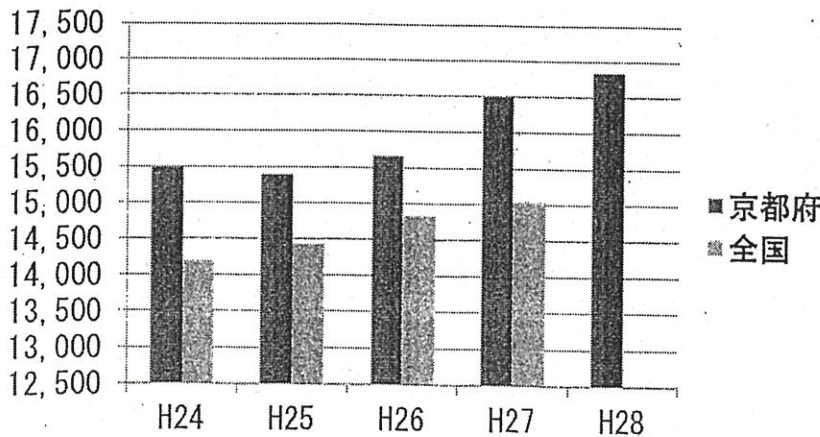
平成18・27年度平均工賃分布図(就労継続支援B型事業所)

(※平成18年度は就労継続支援B型事業所、授産施設、小規模通所授産施設における平均)



京都府

平均工賃月額推移(過去5年間)



	H24	H25	H26	H27	H28
京都府	15,498	15,395	15,656	16,504	16,854
全国	14,190	14,437	14,838	15,033	未定

※H29.7.21速報値

平成24,25年度: 就労継続支援B型事業所

平成23年度以前: 就労継続支援B型事業所、旧法授産施設、小規模通所授産施設

農福・共生の広がり

京都式農福連携補助金の運用により、地域の核となる福祉事業所が整備され、また地域交流へつながる仕組みが広がっています。

(抜粋)

